



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度
国際ロータリーのテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ
2010～2011年度
RI会長 レイ・クリンギンスミス

創会立：1980年(昭和55年)1月10日
会幹長：田中 隆義
事務局長：加納 裕
クラブ委員長：梅村 昌孝
例会日：毎週木曜日 PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rcj.jp
URL：http://www.mizuho-rcj.jp/

第1470回例会

～会員増強及び拡大月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2010年8月19日(木) 曇 第7回

司 会：岩田修司会場委員長
齊 唱：「それでこそロータリー」「四つのテスト」
ゲ ス ト：吉田裕受子さん
米山奨学生 楽怡さん

副会長挨拶

平野哲始副会長

「あいまい民族」の利点？

「結構です」の「結構」が、「承諾」の意味とも「辞退」の意味ともとれる日本語のあいまいさ。だが、常日頃そういうあいまいな表現に慣れ親しんでいるからこそ、日本が世界の注目を浴びている先端技術があるのだそうです。電子工学分野を中心に今注目を集めている「ファジー理論」が、それ。ファジーとは「羽毛」のようにフワフワして、つかみどころがないの意味で、だから別名「あいまい理論」とも言われます。このファジー理論を採り入れたコンピュータの研究開発が今世界的に盛んで、日本はそのトップレベルにあると言われていています。では、ファジーコンピュータと従来のコンピュータとは、根本的にどう違うのでしょうか。



従来のコンピュータは、絶対的な数値、即ちデジタルが基準で、物事を必ず「0」か「1」かの数字の組み合わせに置き換えて判断します。「デジタルコンピュータ」とも呼ばれる所以です。これに対してファジーコンピュータは、人間の「言葉」をそのまま受け入れ、時には言葉が持つあいまいさ＝不確かな部分を、コンピュータ自身が人間で言う勘や経験を働かせて補いながら判断し、計算していく事です。例えば、T字路でコンピュータ制御の車を走らせる。デジタルコンピュータでは「壁の5m手前で速度を秒速1mに落とし、コーナーにさしかかって2秒後にハンドルを右に2回転切る」などと、必ず予め定めた「数値」命令をしてやらなければ、車は壁に衝突するか、脱輪してしまいます。しかしファジーコンピュータなら、「壁に近づいたら減速し、ハンドルをうまく右に切れ」でよいわけです。要するに「近づいたら…減速し…うまく切る」という、極めてあいまいな「言葉」をコンピュータがそのまま理解し、判断してくれるからです。

だから、動きが滑らかで、世界で初めてファジー制御の自動運転システムを採用した仙台市の地下鉄は「乗り心地満点」と評判が良いのです。ですが、これはほんの初歩の活用例で、例えば患者が主観的に訴える症状を適当に斟酌しながら病名を突き止めていく「医療診断システム」など、人間のあいまいさをそのまま受け入れてくれるファジーコンピュータの応用範囲は測り知れないと言います。

こうしたフレキシブル感覚のコンピュータの開発を進めるには

「イエスか、ノーか」の二者択一を迫る理論的な欧米式の物の考え方よりも、どっちつかずであいまいで、包括的な東洋式の考え方の方が向いている…などと言われますと、なにやらくすぐったい感じがしないでも有りませんが。

出席報告

亀井直人出席委員長

会員66名 出席45名 (出席計算人数53名)

出席率 74%

8月 5日は補填により 90%

ニコボックス

亀井直人ニコボックス委員長

- ・先日、加納ご夫妻に色々お世話になりました。長坂 邦雄さん
- ・先日の幹事慰労会にて歴代幹事の皆様にお世話になりました。ありがとうございます。幹事も終わりすっかりリラックスしています。高木 勝さん
- ・関谷さん先日はいろいろお世話になりました。堀 慎治さん
- ・8月7日豊田市のフォレスト・カントリー17番ロング2打目が何と直接カップ・イン!アルバトロス!但しこのコース、パター専用コースです。高須 洋志さん
- ・8月17日三重県熊野海上大花火大会に行ってきた。すばらしい花火を楽しんできました。8月28日には秋田大曲花火にも行きます。山と海の両方を見ることになります。本多 清治さん
- ・盆休みに帰省した長男が病気で、田中会長にお世話になりました。一緒にゴルフプレーをしましたが、いつまでたってもボーリング並のスコアです。岡村 達人さん
- ・お盆は宮古島で潜ってきました。美しい海に感謝。鈴木 健司さん
- ・世界大会36ヶ国約600人が終わりました。やっとストレスから開放されます。松井 善則さん
- ・久しぶりです。暑い日が続きます。八木沢幹夫さん
- ・新入会員です。よろしくご指導お願いします。高木 元明さん
- ・暑い毎日です。関谷 俊征さん
- ・連日の猛暑お見舞い申し上げます。岩本 成郎さん
- ・残暑お見舞い申し上げます。まだ熱中症にはお気を付けてください。田中 隆義さん
- ・8月1日で47歳になりました。皆様のおかげです。感謝! 鶴田 浩さん
- ・8月18日は家内の誕生日でした。お花をありがとう。岩田 吉廣さん
- ・奥様の誕生日にきれいなお花をありがとうございました。加納 裕さん

8月誕生日おめでとう

江口 金満さん 鶴田 浩さん 大島 浩嗣さん
岡本 忠史さん 佐藤 善乙さん 山田 鎮浩さん

- ・本日メールボックスにクラブ計画書と会員名簿を配布させていただきました。よろしく願い致します。
- ・次週8月26日(木)10時30分よりヒルトン名古屋9階「つるの間」にて第2回地区大会実行委員会を開催致します。
- ・同じく8月26日(木)13時40分よりヒルトン名古屋9階「つるの間」にて第1回長期ビジョン委員会を開催致します。
- ・同じく8月26日(木)18時より「蓬莱軒本店」にて会員増強及び維持・会員選考・職業分類委員会を開催致します。
- ・11月20、21日に開催される地区大会の案内が届いております。出席義務者はよろしく願い致します。
- ・地区事務局より「アクション油ヶ淵 in 高浜」についての案内が届いております。興味のある方はご覧下さい。

出席者表彰

通算5年100%出席

亀井直人さん 堀 慎治さん 松岡道弘さん



通算10年100%出席

馬場将嘉さん 岩田修司さん 平野好道さん



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証バッジ伝達



6回目のマルチプル・ポール・ハリス・フェローになられた高村博三さんに田中隆義会長より認証バッジが授与されました。

ピアノ演奏

事務局員 山田愛子さん 伴奏:吉田裕受子さん

ショパン生誕200周年記念

ピアノ協奏曲第2番第2・3楽章 ～2台ピアノバージョン～

ピアノを演奏するのに、どうして伴奏が必要なのかと思われた方もいらっしゃるかもしれませんが、ご説明させていただきます。

協奏曲というのはよくイタリア語でコンチェルトとも言われますが、独奏楽器とオーケストラとの合奏曲のことです。普通ソナタ形式を持ち、三つの楽章より成るものが多いです。

本来ピアノ協奏曲は独奏楽器のピアノとオーケストラで演奏されるものですが、本日は吉田さんにピアノでオーケストラ部分を弾いていただきます。

第2楽章は初恋の女性への秘めた想いの中で書かれました。ピアノの冒頭部分から始まる甘美なメロディーが繰り返される度に



装飾が加わっていき、全体で三度奏されます。人生の一瞬のきらめきが切なくみずみずしく表現されているノクターン風の曲です。

第3楽章はショパンの愛する故郷、ポーランドの民族舞踊の要素を大胆に取り入れられたロンド風の曲です。マズルカ風のリズムを持った二つの主題で構成されており、二つの主題が何度か現れた後、華々しいコーダで曲が終わります。



ロータリーワールド

専門家に聞く

RI広報補助金の申請に際して何かアドバイスがありますか。

2009-10年度公共イメージ支援グループのゼネラルコーディネーター、ポーリーン・ラング氏が答えてくれました。

広報補助金に申請すれば、地域社会でロータリーのイメージを大きく向上させるチャンスが地区内クラブに提供することができます。広報補助金は、一般の人々にロータリーの活動を知ってもらうために、ロータリーの信頼性と可視性を高める上で地区が活用できる素晴らしいリソースです。



ロータリーを推進する最も効果的な方法は、「人類のために活動します」を利用してロータリーの重要なメッセージを人々に伝えることです。補助金の申請書では、地域のさまざまなメディアを通じて地区が資金をどのように活用するかを説明します。

一貫性も大切ですが、地区の人々にアピールするようなクリエイティブな計画を考案してください。ロータリーの質の高いイメージを表すような優れたデザインを使用することが大切です。

また、広告の対象人口を検討した上で申請書には、利用するメディアの種類とその理由を記載します。補助金上限は1万ドルで、テレビ、ラジオ、紙面などさまざまなメディアに利用できます。申請に先立ち、作成コストや業者の見積もりを調べておくといでしょう。

メディアに取り上げてもらうには、プロジェクトをユニークなものとするのが肝心です。メディアを賑わせるような独自の活動を申請に盛り込むといでしょう。また、過去に掲載された広告や記事があれば、これも申請書に添付します。

効果的な広報によって、ロータリーに対する人々の認識を大きく高めることができます。もっと人々の目に留まるようになれば、奉仕プロジェクトへの協力がなくなるだけでなく、会員の勧誘や維持にもプラスの効果が見れるでしょう。

例会のご案内

■今週の卓話 8月26日(木)

卓話講師:地区研修委員 鈴木孝則さん
テ - マ:研修について

■次週の卓話 9月2日(木)

会員卓話:野崎洋二さん 高木 勝さん
テ - マ:会員増強及び維持について

■次々週行事 9月9日(木)

ガバナー補佐訪問